

研究計画概要書

研究課題名		地域包括ケア病棟看護師のチームケア促進要因
研究組織	研究責任者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻・准教授・ 淵田英津子
	研究分担者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻・博士課程前期課程 2年・辻村早苗
	共同研究者 (所属・職名・氏名)	なし
	研究事務局 (機関の名称・住所・連絡先)	名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻 准教授・淵田英津子 住所：〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20 大幸キャンパス内 213 研究室 直通電話番号：(052) 719-3112 FAX 番号：(052) 719-3112 e-mail : fuchita@met.nagoya-u.ac.jp
研究の意義・目的		<p>2000年の介護保険制度の開始により、要支援者や要介護者は増加し、高齢者の生活の場の多様性に影響を及ぼしている。また、高齢者本人の意向と生活実態に合わせた包括的な保健・医療・福祉サービスの整備が課題となっている。</p> <p>このような社会背景から、2014年に診療報酬改定において地域包括ケア病棟入院料が創設され、2016年6月現在1,509の届出がされている。2014年以降に急速に増えた地域包括ケア病棟の実態を把握するために、厚生労働省や地域包括ケア病棟協会が2015年以降に調査を実施し、病棟機能、病床数、人員配置といった体制整備の現状を報告している。一方、地域包括ケア病棟に関する先行研究は少ないものの、地域包括ケア病棟の関連職種が目標や情報を共有することで患者や家族の援助に効果があることが明らかにされている。</p> <p>地域包括ケア病棟は、看護師だけでなく、リハビリテーションや在宅復帰を支援する専従・専任職員の配置が義務付けられ、チームで高齢者の多様性をアセスメントし、各専門職が専門性を発揮するケアの実践が求められている。特に患者のケアを中心的に実践する看護師は、目標や情報の共有、ケアの実践において重要な役割を担うと推察される。しかし、地域包括ケア病棟のチームケアの実態や地域包括ケア病棟看護師を対象とした調査報告はみあたらない。</p> <p>本研究において、地域包括ケア病棟で中心的にケアを提供している看護師の視点から、地域包括ケア病棟看護師のチームケアの実態とチームケアを促進する要因を明らかにすることは、地域包括ケア病棟において、看護師が専門性を発揮しながら、他職種とチームケアを効果的に実践するための基礎資料となると考える。</p>

<p>主な選択基準</p>	<p>対象は、2017年5月末現在で、地域包括ケア病棟協会に加入している医療機関415病院の地域包括ケア病棟の責任者および、地域包括ケア病棟に勤務している看護師で、調査協力に同意し、質問紙の回答と返信が得られた者とする。医療機関の選択基準は、地域包括ケア病棟の診療報酬算定項目である「地域包括ケア病棟入院料1」、「地域包括ケア病棟入院料2」を地方厚生局にて届出受理されていることに加え、地域包括ケア病棟協会に加入している医療機関とする。</p>
<p>研究方法（多施設共同研究の場合は、 本学の役割・目標症例数も記載）</p>	<p>郵送法による無記名自記式質問紙調査法にて行う。データ収集期間は、名古屋大学大学院医学系研究科生命倫理審査委員会で承認された後、平成29年10月30日頃までに実施予定である。</p> <p>標本数は、地域包括ケア病棟協会に加入している415の医療機関の地域包括ケア病棟の総病床数から、施設基準の看護職員配置基準13対1と仮定して計算し、平均3.5名の看護師が地域包括ケア病棟に所属していると推定した。また、地域包括ケア病棟協会、厚生労働省の調査結果では、回収率が約30%であったことから、本研究においても同様の傾向を示すと考え、調査票の回収率を25%と推測し、地域包括ケア病棟看護師300名から回答が得られると推察する。</p>
<p>研究期間</p>	<p>実施承認日～平成30年3月31日</p>
<p>インフォームド・コンセントの方法 （説明を行う者等）</p>	<p>本研究は、郵送法による無記名自記式質問紙調査で行い、調査票の返送をもって調査協力の同意を得たものとするため、インフォームド・コンセントによる同意を取得しない。</p> <p>本研究への協力は、任意での参加協力であることを研究説明書に明記する。また、倫理的配慮として、研究参加の自由、同意について明記し、調査票の回答記入と返送をもって、調査協力の同意を得られたものとする旨を明記する。</p>
<p>個人情報の管理体制（個人情報管理者、 連結表の管理体制等）</p>	<p>返送された調査票は、便宜的番号を付し連結可能匿名化とする。なお、「地域包括ケア病棟の体制に関する質問紙調査（病棟責任者用）」と、「地域包括ケア病棟における看護師のチームケアに関する質問紙調査（病棟看護師用）」は個人が特定されない施設IDを用いて連結する。連結する理由は、病床数により職員配置数がことなることから、病床数でのチームケアの特徴を把握するために便宜的番号を付す。また、研究説明書に便宜的に付した番号で管理するため、医療機関名、個人が特定されることはない旨を明記する。研究中の管理は、研究責任者と研究分担者のみが扱うこととし、研究の目的以外に使用しない。</p>
<p>研究で収集した試料・同意書の保管場所、 研究終了後の試料の取扱い</p>	<p>調査票と、パスワードをつけてUSBメモリーに保存したデータは、名古屋大学大幸キャンパス敷地内にある鍵付きの保管庫で厳重に管理する。研究終了後、調査票はシュレッダーにかけて廃棄し、USBメモリーに入れたデータは研究責任者が10年間保管する。研究結果を論文や看護関連の学会で公表する場合には、対象を「地域包括ケア病棟責任者」、「地域包括ケア病棟看護師」と記載する。</p>
<p>効果安全性評価委員会 （委員の職名・氏名・審査間隔）</p>	<p>なし</p>
<p>被験者に重篤な有害事象が生じた場合の 対処方法</p>	<p>なし</p>